

京都文教大生による宇治商工会議所会員企業・団体紹介〔第34回〕 ～社会人0年生の私たちが見つけた企業と地域の魅力～

2025年 **12**

学生広報チーム × 婚活サロン hana 京都宇治 一緒に幸せを見つける旅へ 婚活サロン hana 京都宇治

現役の大学生として大学の魅力を発信し、地域の課題解決にも取り組む「学生広報チーム」が、「婚活サロン hana 京都宇治」の斉藤洋子さんを取材しました。

【はじまりは実体験から】

斉藤さんが結婚相談所を始められたきっかけは、「自分に合った相手を見つけるというのはとても大変なことで、実は私自身も苦労した」という過去の自らの恋愛経験などからきており、「結婚したいという利用者様がよりよいパートナーを見つけることのお手伝いがしたい。そうした相手が見つかったときの喜びを共有できることにとてもやりがいを感じています。」と、お話しいただきました。また、宇治市で開業された経緯は「宇治という土地柄は人と地域との関係が密接で、利用者様が困っているときにすぐに面談することができること」「宇治市近辺の会員様が多く、近くのご縁を繋げる可能性があること」とのことでしたが、何よりもサービスが受けられない人がこぼれ落ちないようにサポートしたいという熱い思いがひしひしと伝わってきました。



↑ うじらぼでの取材の様子

【アプリだけじゃない、人の目で確かめられることが強み！】

婚活サロン hana 京都宇治はIBJ（日本結婚相談所連盟）に加盟しており、約10万人の登録者の中からパートナーを探し出すサポートを行っています。マッチングアプリが主流となりつつある現在でも、仲人同士が集まって相手を紹介し合う伝統的な「手組」を行うなど、双方にとって相性のよい相手を紹介することにこだわっておられます。それは「結婚するためには職業や年収などの基本情報だけでなく、それぞれの価値観や背景が大きく影響していて、それを直接確かめられることが大きな強みになる」という斉藤さんの信念からきています。また、「マッチングアプリを経験する事で結婚相談所のメリットが分かるのではないかと、相談所では証明書類の提出義務とお相手を知る仲介者が必ずいる安心感、真面目にお相手を探している方が多いので効率的である」と、一見競合相手とも思えるマッチングアプリであっても業界そのものを盛り上げるチャンネルと捉える柔軟で未来志向的な感覚も持っておられました。

【他人のために、まずは自己研鑽を】

あくまでも“利用者様の幸せについて”を考えるお仕事ですが、そのために自らのスキルや能力を磨くことも意識されていきました。たとえば、利用者様のカウンセリングの場面では、心理テストでもあるエゴグラムを活用されていたりします。エゴグラムとは自身の性格志向や行動パターンなど、認識しづらい内面を客観的に把握できる診断のことで、利用者様のパートナーとの接し方や関わり方の特徴などを心理学的に確認することができます。そのほかにも、結婚後に想定される危機について先にパートナーと話し合い、未然に離婚を防ぐ支援を行う「プリマリタルカウンセラー」の資格を取得するなど、常に自己研鑽を積んでおられます。こうした取り組みから、他の結婚相談所との差別化をはかるとともに、その人自身のパーソナリティを大切に、結婚をゴールとせずそこから幸せな人生を送ることを大切にしている、そんな斉藤さんの思いや考え方を感ずることができました。



↑ うじらぼでの取材の様子

【今回の取材先】

婚活サロン hana 京都宇治
(宇治市広野町宮谷88)



2018年7月、京都府宇治市で開業。宇治市を中心に、結婚を願う人々に寄り添いながらお相手探しをサポートしている。IBJ（日本結婚相談所連盟）に加盟し、約10万人の登録会員から出会いを提供。大手相談所で培ったノウハウを生かし、小規模ならではのきめ細かなサポートを強みとしている。

【今回の取材担当】

学生広報チーム

京都文教大学の学生で組織される学生団体。オープンキャンパスや高校生向けイベントの運営等を通じて、高校生に向けて、京都文教大学の魅力を全力で発信することを目的としている。また、企業や行政とともに地域課題に取り組むなど、学内外で大学のPR活動に努めている。現在、約30名ほどで活動中。



今回の取材や記事の作成を担当した学生と斉藤さん。左から三好 香奈さん（臨床心理学部2回生）、樋口 紗来さん（臨床心理学部2回生）、森 彩夏さん（総合社会学部3回生）